



のぞみ

平成23年度2月号

No. 455

寒さに負けずに

主に望みをおく人は新たな力を得

鷲のように翼を張って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

旧約聖書 イザヤ書 40章 31節

- ★今年1月半ばから冬将軍が猛威をふるって、厳しい寒さが続いています。そして2月、1年中で最も寒い月に入りました。そんな中でも、子どもたちは手を真っ赤にして縄跳び、サッカー、ドッジボール、かくれんぼ等々、遊びに夢中です。また氷や霜柱を見つけると、寒さも忘れ大喜びで見たり触ったり・・・今の時期でなくてはできない経験や体験もしています。寒さなどに負けない、心身共に強い子どもに成長してほしいですね。また寒さに負けないためにも、早起き、早寝、朝ご飯をしっかり食べる、うがい、手洗い等の健康管理を家族みんなで実行して行きましょう。
- ★「園長先生一、見て一」、「先生一、出来るようになったの、見てて一」と子どもたちが話しかけて来ます。そして、出来るようになった縄跳びや駒まわし、逆上がり等を自慢そうに見せてくれるのです。“見てほしい”という気持ちだけでなく、自分の成長を確かめたいようにも見えます。子どもたちは皆、自分が成長することに強い憧れを持っているのです。“今よりもっと良い自分になりたい”・・・子どもの言葉でいえば、もっと大きくなりたいとか、もっと出来るようになりたいということでしょうか。良さに向かって成長していきたいと思う気持ちは、神さまから子どもたち一人ひとりに与えられています。そして保育者は待ちます。早い時の流れの中で、待つことは難しいですが、子どもの育つ力を信じて待つことによって、わたくしたち保育者も多くのものを得、また教えられているように思います。
- ★2011年度も、残すところあと1カ月半ほどとなりました。きっと“あっ”という間に過ぎてしまうことでしょう。時の流れの速さを思う時、一日という時の持つ重さと大切さを感じます。時が流れ流れていく中で、子どもたちは心も身体も確かに成長しています。それは、子どもたちの何げない言葉や行動の中に現われています。上履きのはき方や礼拝の守り方、あいさつの声やお友達との会話・・・園生活の様々な場面で成長を見ることができのです。今、卒園、進級を前に子どもたちは頼もしい姿を見せてくれていることをうれしく思います。わたくしたちに与えられている、子どもたちと共に過ごせる日々を、ゆっくりじっくり楽しみながら、笑顔に満ちた時として歩みたいと願っています。

園長 堤 陽子